

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。雪が本当に少なくて、気が付いたら春になっていました。雪があればあるで大変ですが、ないと寂しいものがありますよね？今年程、暖冬と感じられる年は近年ありませんよね？これも温暖化の一つだと思いますが、これが珍しく感じられなくなる事が日常とならない事を祈ります。

さて私事です、春から仕事が少し立て込みまして、まだ今年2回目の虹色通信になります。これからもこのように不定期になりましても、お読み頂ける事を切に願います！（苦笑）

通算31回目の今回は、最近注目を浴びている設備「**エコキュート**」についてお話したいと思います。エコキュートとは、電力会社・給湯機(ボイラー)メーカーが販売する、自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機を総称して呼んでいます。自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機とは、大気中にある二酸化炭素を冷媒にして、ヒートポンプという機械方式でお湯を沸かします。深夜温水器のタンクとエアコンの室外機が一体になったものと考えて頂ければわかりやすいと思います。原理はこうです。空気というものは圧縮されると体積が小さくなり、熱を発生します。そこに水を通して、温める訳です(図1)。タンク(貯湯ユニット 写真1)に水を溜め、エアコンの室外機みたいな機械(ヒートポンプユニット 写真2)を動かし、温めます。これを深夜電力を利用して、効率良く沸かします。前の深夜温水器より効率が良いので、タンクも小さくなっています。エコキュート用に組まれた料金

【自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機のしくみ】

大気熱を自然冷媒(CO₂)に集め、その熱でお湯を沸かします。

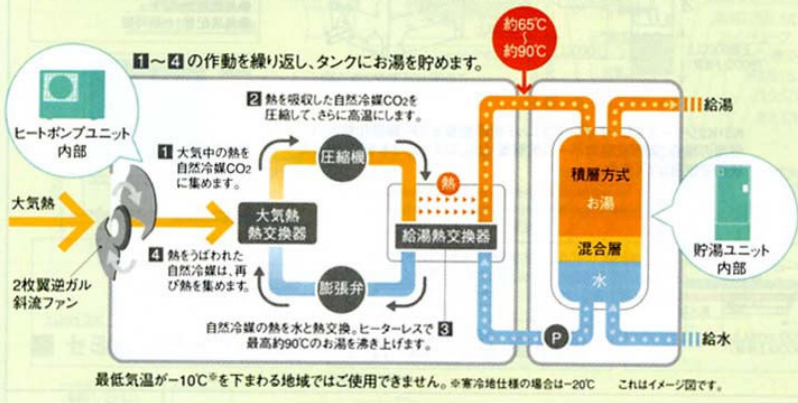


写真1

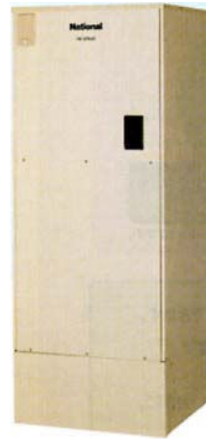


写真1



写真2

設定もあるので、通常の深夜電力より省エネ・効率的です。機種は、3~5人家族で370L、4~7人家族で460Lの2タイプ

があります。また、灯油やガスの給湯機のように、自動お湯張りや追い炊き機能を装備した機種もあります。使い勝手は、他の給湯機と変わらないです。どうしても安価な他の給湯機と比較すると、先行投資のような形になるエコキュートは高価です。設備に約100万円位かかります。しかし後でランニングコストが安く、電気代しかかからないと思うと、とても経済的です(図2)。環境問題が騒がれてる昨今、クリーンエネルギーである電気を利用した生活は、ますます増える傾向にあります。IHクッキングヒーター(写真3)や太陽光発電(写真4)も、その一例です。

皆様の住宅計画の中に、「電化」も一つのキーワードとして挙げてみたらいかがでしょうか？

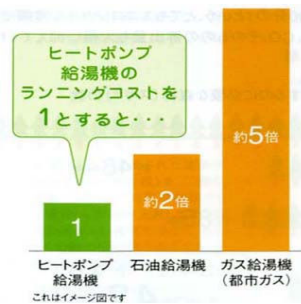


図2



写真3



写真4

M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225 FAX:(0268)68-2196 森田携帯(090)2215-8356

URL: <http://www.moriken-motto.com> E-mail: mail-info@moriken-motto.com

今月の話題です。

今月は、我が家の家族の近況はお休みさせて頂き、毎年行なってる我社の協力会の旅行のお話をしたいと思います。

今年は、近年話題にあがっていましたが、鳥インフルエンザの影響で延期されていた、ベトナムへ行って参りました。ベトナムは北のハノイが首都ですが、南のホーチミン市周辺に行つて参りました。ホーチミン市は人口250万人の大都市で、ベトナムで一番活気のある都市です。ここは昔、サイゴンと呼ばれ、ベトナム戦争時代には南ベトナム政府が置かれていました。戦争後にホーチミン市と名前を変えました。この国は社会主義国ですが、人々の活気ある暮らしぶりを見ていると、とてもそのような面影を感じません。古くはフランスの植民地でしたので、その名残の建物もあります。写真1が中央郵便局で、写真2がサイゴン大教会です。

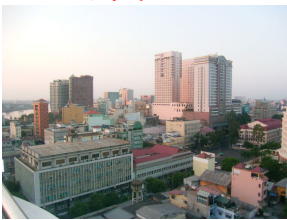


写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

やはりこの国は、戦争の傷跡が深く残っている感じがしました。写真3は旧南ベトナム大統領官邸で、今は博物館になっています。写真4は戦争証跡博物館です。アメリカ・旧ソ連の戦闘機・戦車・武器等が展示してありました。一番印象に残ったのは、写真家が撮った戦争写真・枯葉剤の影響で奇形になった子供達の写真でした。とてもカメラでは写せないものでした。写真5はホーチミン市から北に1時間半程行った、「クチ」という場所です。ここで穴を掘り、アメリカ兵と戦っていました。写真のように大型のアメリカ人だと身動きできないので、小柄なベトナム人でも戦えたのです。料理は魚介類が中心の料理で辛い訳でもなく、問題なく食べられました。写真6の米の粉でできた麺「フォー」はシンプルな味付けで美味しかったです。私のお気に入りです。

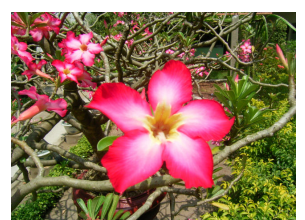
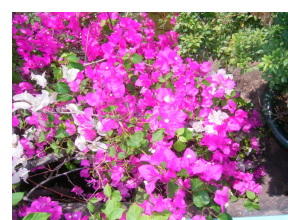
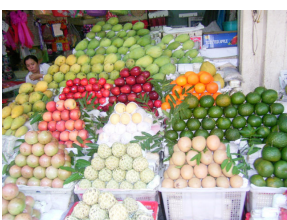
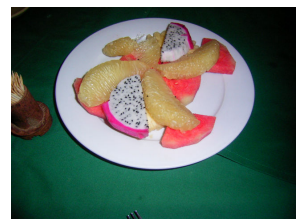
ベトナムは私が行く前に抱いてた、田舎というイメージとはるかに違い、国が成長し続けていて、活気あふれるパワーのある国でした。皆様も機会があったら、尋ねられたらいかがでしょうか？元気をもらえる事、請け合いです！（笑）



写真6



生春巻



M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225

FAX:(0268)68-2196

森田携帯:(090)2215-8356

URL:<http://www.moriken-motto.com> E-mail:mail-info@moriken-motto.com

